

オーガナイザー

教育研究開発センター 教授 村田 顕也
地域医療支援センター 教授 上野 雅巳
教育研究開発センター 講師 佐々木 洋子

I 授業の目的

医学概論 I では、疾患の発症を患者が居住する地域や生活や文化と関連させて考察できる医師の育成を目標とする。本学では、1年の夏休みに県下の病院にて早期医療体験実習 (Early exposure : EE) を行っている。EE では、医師などの医療関係者のみならず、患者さんから直接医療の現状を学ぶことが多い。そのため、本講義で和歌山県の各医療圏の現状と課題について事前学習する。また地域住民を観察し、患者の文化や行動様式を記録するエスノグラフィーの手法を学習する。EE では、単に現場の医療を体験するだけでなく、これらの知識と手法をもとに患者を社会的観点からとらえる視点を修得させる。さらに、和歌山医大の役割と使命を再確認し、地域社会および国際社会で活躍するための医師の人材育成を目指す。

II 到達目標

- 1. 和歌山県の歴史・文化が概説できる。
2. 和歌山県の風土・産業と疾患との関連について概説できる。
3. 和歌山県の各医療圏の現状と課題が概説できる。
4. 和歌山県の医療の現場を知ることができる。
5. エスノグラフィー (行動観察) 手法について理解し実践できる。
6. 参与観察の手法を学び実践できる。
7. 本県の災害医療と救急医療について概説することができる。
8. 本学の歴史・伝統について概説できる。
9. 本学の現状と課題について概説できる。
10. 本学の研究について概説できる。
11. 黒潮医療人養成プロジェクトが概説できる。

III 教育内容

上記の内容を本学教員および外部講師によるオムニバス形式で行う。

IV 学習および教育方法

講義を中心とし、事例検討やグループワーク演習も取り入れる。

V 評価の方法

各講義のレポート (30%) と授業態度 (30%)、グループワークの発表内容 (40%) により評価する。

Table with 7 main columns: 1 基盤的資質, 2 医師としての基本的資質, 3 コミュニケーション能力, 4 医学的知識, 5 医学の実践, 6 医学的(科学的)探究, 7 社会貢献. Includes a row for '卒業時コンピテンシ' and '医学概論 I' with corresponding levels (D, E, F, C).

講義日程表※日程・内容等変更になることがあります。

| No. | 月日 | 曜日 | 時限 | 項目 | 担当科 | 担当 |
|-----|---------|-----|----|---|------------------|----------------|
| 1 | R5.6.2 | (金) | 1 | 和歌山医大を知る 1 (和医大生としての誇りと責務) オリエンテーション 1 (医学概論と早期医療体験学習) | 教育研究開発センター | 宮下 学長 村田 顕也 |
| 2 | R5.6.2 | (金) | 2 | オリエンテーション 2 (医学概論と早期医療体験学習) | 教育研究開発センター | 村田 顕也 |
| 3 | R5.6.9 | (金) | 2 | 和歌山を知る 1(救急医療・災害医療) | 救急・集中治療 医学講座 | 田村 志宣 |
| 4 | R5.6.16 | (金) | 1 | 和歌山を知る 2(和歌山県の医療) | 地域医療支援 センター | 上野 雅巳 |
| 5 | R5.6.16 | (金) | 2 | 和歌山医大を知る 2 | 医学部長 脳神経内科学講座 | 伊東 秀文 |
| 6 | R5.6.23 | (金) | 1 | 黒潮医療人養成プロジェクト | 地域医療支援 センター | 蒸野 寿紀 |
| 7 | R5.6.23 | (金) | 2 | 和歌山を知る 3(和歌山県の医療の現場) | 国保すさみ病院 | 高垣 有作 |
| 8 | R5.6.30 | (金) | 2 | エスノグラフィー、EE での医療情報の集め方 | 教育研究開発センター | 佐々木 洋子 |
| 9 | R5.7.7 | (金) | 1 | EE GW | 教育研究開発センター | 村田 顕也 佐々木洋子 |
| 10 | R5.7.7 | (金) | 2 | EE GW | 教育研究開発センター | 村田 顕也 佐々木洋子 |
| 11 | R5.7.14 | (金) | 1 | 法医学について | 法医学教室 | 近藤 稔和 |
| 12 | R5.7.14 | (金) | 2 | 病気の原因をさぐる | 分子遺伝学講座 | 井上 徳光 |
| 13 | R5.7.21 | (金) | 1 | キャリアに研究をいれよう | 血液内科 | 園木 孝志 |
| 14 | R5.7.21 | (金) | 2 | 研究を通じた国際交流 | 生体調節機構研究部 | 改正 恒康 |